

3. 大腸がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		内視鏡的治療		化学 療法	放射線療法			光線力 学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				開腹 手術	腹腔鏡 下手術	EMR	ESD		体外 照射	小線源 治療				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 消化器内科	19	3	状況 実績	× なし	× なし	○ なし	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	ESDは45件、又、進行大腸癌に対しては積極的に化学療法を行い、肝転移症例でも切除可能症例は消化器センター外科と連携して外科的治療を行っています。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki-center/index.html イ http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki-center/cure/index-contents	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 消化器外科	11	4	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	年間約100例、技術的に腹腔鏡下アプローチが可能な症例は、進行度に関わらず腹腔鏡補助下大腸切除の適応としている。大きな予後規定因子である肝転移に対しては、積極的な肝切除、肝切除後の再発防止や切除不能肝転移症例に対しては、FOI/FOX、FORENI(注)を中心とした化学療法を施行して	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki-center/index.html イ http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki-center/cure/index-contents	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線科	8	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようしております。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki-center/cure/index-contents イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載なし
4			状況 実績										ア http:// イ http://			
5			状況 実績										ア http:// イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 結腸がん、直腸がん、肛門管がん 結腸がん、直腸がん、肛門管がん
------------------------------------	---------------------------------------